機械器具　09　医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
管理医療機器　　デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影 X 線診断装置　(37669000)
（汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム　(70030012)）

特定保守管理医療機器　設置管理医療機器　**オーソフォス　E**

再使用禁止（ハイジニックカバーのみ）

【警告】
＜使用方法＞
・撮影中は常に患者と撮影装置を観察し、異常を認めたときはすぐに撮影を中断すること。[回転アームに患者が体を挟むなどの危険があるため。]
・本装置は、X線診療室・管理区域で使用すること。[放射線による健康障害等の防護のため。]
・使用中は、X線診療室・管理区域への出入りを制限する措置を講じること。[放射線による健康障害等の防護のため。]
・患者には必ずX線防護服を着用させること。[放射線による健康障害等の防護のため。]

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
・可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内では使用しないこと。[爆発のおそれがあるため。]
・再使用禁止（ハイジニックカバーのみ）
・軟骨や軟組織の表示目的に使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 構成
・本体
(1) オーソフォス E
(2) オーソフォス E Ceph

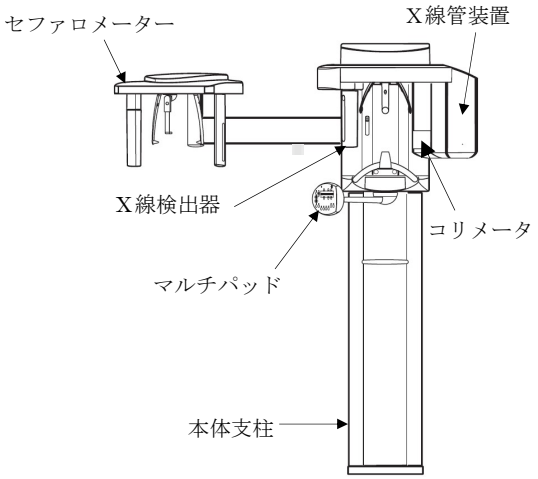
・付属品：
(1)　ヘッドサポート
　①　前額サポート（こめかみサポート）
　②　コンタクトパッド
(2)　顎関節サポート
(3)　コンタクトセグメント
(4)　バイトブロック
(5)　チンレスト
(6)　テストファントム
(7)　光ファイバーケーブル
(8)　メディアコンバータ
(9)　メディアコンバータ用電源ケーブル
(10)　照射ボタン
(11)　ハイジニックカバー（基本ユニット用）
(12)　ハイジニックカバー（セファロメーター用）
(13)　シデキシス４（認証番号：227AABZI00103000）

・オプション
(1) リモートコントロール
(2) フロアスタンド
(3) パーソナルコンピュータ

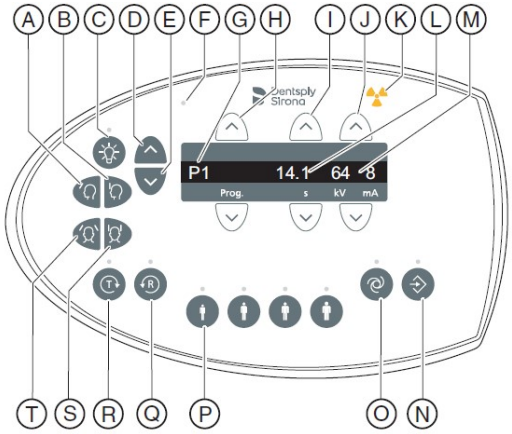
2. 電気的定格及び機器の分類
・　電源電圧　　：AC200-240V
・　電源周波数　：50/60Hz
・　消費電力　　：2kVA
・　電撃に対する保護の形式：クラスⅠ機器
・　電撃に対する保護の程度による装着部：B形装着部
・　水の有害な侵入に対する保護の程度：ＩＰＸ０

3. 主な原材料
ハイジニックカバー：ポリエチレン

4. 形状
＜本体：オーソフォス E Ceph＞



＜マルチパッド部詳細＞



5. 作動・動作原理
本品は、支柱によって支持された回転アームにX線管装置（高電圧発生装置及びX線管）とX線検出器（CCD センサー）を備え、頭部の周りを回転・移動しながら、X線ビームを照射し、X線検出器にて被写体を透過したX線を検出する。
①パノラマ（二次元断層）撮影
X線管装置から発生したX線は、スリット状の絞り（コリメータ）により縦方向のX線ビームとして被写体に照射される。被写体を透過しX線検出器に到達したX線透過信号は、シンチレーターにより光へ変換された後、CCD にて電気信号に変換される。
X線管装置とX線検出器は頭部の周りを回転しながら何千枚ものスリット撮影をし、変換された電気信号はデジタル変換されて、コンピュータにより画像再構成アルゴリズム（数学的手法）に基づいて処理され、画像として表示される。
②セファロ撮影
セファロスタットに取り付けられた二次コリメータ及び、X線検出器が連動して横方向に移動しながら、X線管装置から照射された縦方向のX線ビームにより患者頭部を走査する。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

CCD センサーに到達したＸ線透過信号は、光ファイバーを経由して CCD にて電気信号へ変換され、デジタル変換されて、コンピュータにより画像再構成アルゴリズム（数学的手法）に基づいて処理され、画像として表示される。

6. 動作保証条件
周囲温度範囲 ： 10～40 ℃
相対湿度範囲 ： 10～95%（但し結露のないこと）

【使用目的又は効果】
本装置は、人体の頭部を透過したＸ線の蛍光作用、写真作用又は電離作用を利用して、歯科診療のための頭部、歯又は顎部の画像情報を提供する。

【使用方法等】
※ここでは概要を記載します。詳しくは取扱説明書を参照してください。
＜設置方法・組立方法＞
専門知識のある技術者が設置手順書に従い設置してください。
＜準備＞
1. コンタクトセグメント、バイトブロック、チンレスト、コンタクトパッド及びイヤープラグは、使用前に滅菌（高圧蒸気滅菌、１３２℃、４分間以上、０．２１ＭＰａ）する。
2. 撮影目的に適合するバイトブロックなどを本体に設置する。
3. 前額サポート（こめかみサポート）、バイトブロックなどにハイジニックカバーを被せる。
4. 本体及びパーソナルコンピュータの電源スイッチを入れ、ソフトウェアを起動させて、患者情報を入力しておく。

＜使用方法＞
［Ⅰ］パノラマ・断層撮影
1. マルチパッドのⓗプログラム進む／戻るキーを操作し、パノラマ・断層撮影用の撮影プログラムを選択し、4 分割された顎の照射部位指定、こめかみサポートの幅設定、患者の体格に合わせた患者シンボルの選択をする。必要があればⒿ上／下キーを操作して kV/mA の調整ができる。
2. 患者を撮影位置に誘導する。
3. バイトブロックなどの高さを、コントロールパネルで患者に合わせて調整する。
4. こめかみサポートで患者の側頭部を押さえる。患者に両手で左右のハンドルを保持させ、前歯でバイトブロックを軽くかませるか又はコンタクトセグメントを鼻根部にあてる。
5. ⒸライトローカライザーON/OFF キーにてビームライトをオンさせ、ミラーを用いて正中線ビームライトが顔面の正中を、水平ビームライトがフランクフルト平面をそれぞれ照射するように患者の位置付けする。
6. プログラムの最終確認を行い、Ｘ線を照射する。途中でプログラムをキャンセルする際は、照射ボタンを放す。

［Ⅱ］セファロ撮影
1. マルチパッドのⓗプログラム進む／戻るキーを操作し、CEPH（セファロ撮影）撮影プログラムを選択する。
2. 対称撮影及び手根撮影時は、イヤープラグホルダーを９０°回転させる。
3. イヤープラグホルダー位置を外方向に広げる。
4. ⓠＲキーを押し、Ｘ線管装置とセンサーをセファロ撮影ポジションにセットする。
5. 矢印キーを使って撮影プログラムを選択する。患者の体格に合わせて患者シンボルを選択する。必要があればサブメニューから kV/mA の調整ができる。
6. 患者を撮影位置に誘導する。
7. イヤープラグの高さをマルチパッドで患者に合わせて調整する。
8. イヤープラグを耳孔の位置に合わせる。
9. ⒸライトローカライザーON/OFF キーにてビームライトをオンさせて、患者の水平ビームライト位置を確認する。
10. プログラムの最終確認を行い、Ｘ線を照射する。途中でプログラムをキャンセルする際は、照射ボタンを放す。

＜終了＞
1. 撮影終了後、患者を撮影位置から解放する。画像データはパーソナルコンピュータのデータベースに自動的に保存される。
2. 検査終了後、ソフトウェアを停止させ、システムの電源を切る。
3. 本体外装を清掃及び消毒する。
4. コンタクトパッド、イヤープラグ、コンタクトセグメント、バイトブロック、チンレストを滅菌（高圧蒸気滅菌、１３２℃、４分間以上、０．２１ＭＰａ）する。
5. ハイジニックカバーは廃棄する。

【使用上の注意】
※ここでは概要を記載します。詳しくは取扱説明書を参照すること。
＜重要な基本的注意＞
1. 規定の付属品を使用すること。
2. 患者が身に着けている眼鏡、アクセサリーや取り外し可能な義歯といった金属製品は、取り外してもらうこと。
3. 身体、装身具、着衣、車椅子、病院ベッド等により本装置の動作を妨げないようにすること。
4. 温度が極端に変動した場合に結露が生じることがあります。システムが通常の室温になるまで電源を入れないこと。
5. 電源投入中及びRキーを使用する場合は、患者を本装置に入れないこと。
6. 高さ調整する場合は患者と本装置の動作を監視すること。モーターは最初ゆっくり動きますがだんだん速度が速くなります。
7. エラーが発生して装置の電源を一旦切ってから再び入れる必要がある場合は、電源を入れる前に必ず患者を装置から出すこと。
8. 一度電源を切り再度電源投入する場合は、約 60 秒待つこと。
9. 回転動作の最中に本装置の一部が患者に接触したり、不具合が生じた場合は、ただちに照射ボタンを放すか、メインスイッチをオフにすることで装置を停止すること。
10. データ記憶装置の不具合を防ぐため、電子装置、無線制御式腕時計、テレホンカードなどは撮影前に機器周辺から取り除くこと。
11. 患者を除き、放射線保護のない人は室内にとどまらないこと。
12. 患者、ユーザー、その他の人の間の二次汚染を防ぐため、必ず適切な衛生対策を取ること。
13. ビームライトを見つめないこと。目とビームの間は最低 10cm の距離をとること。
14. 撮影中は頭を動かさないよう患者に助言すること。
15. 可動部の可動範囲内に障害物が入らないように注意すること。
16. 所有者、患者および第三者の安全性を害する可能性のある変更をシステムに加えることは、法規定により禁止されています（システムを改造しないこと）。
17. センサーを外す場合、絶対に落としたりぶつけたりしないこと。

＜相互作用（他の医薬品・医療機器との併用に関すること）＞
1. 併用注意（併用に注意すること）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
植込み型心臓ペースメーカ	植込み型心臓ペースメーカの植込み部位にＸ線束を連続的に照射する検査を行う場合、これらの機器に不適切な動作が発生する可能性がある。検査上やむを得ず、植込み部位にＸ線を照射する場合には、植込み型心臓ペースメーカの添付文書の	Ｘ線束が連続的に照射されるＣＴ検査に際し、本体内部のＣ－ＭＯＳ回路に影響を与えること等により、オーバーセンシングが起こり、植込み型心臓ペースメーカのペーシングパル

取扱説明書を必ずご参照下さい。

	「重要な基本的注意事項」の項及び「相互作用」の項等を参照し、適切な処置を行うこと。	ス出力が一時的に抑制されることがある。
植込み型除細動器	植込み型除細動器の植込み部位にＸ線束を連続的に照射する検査を行う場合、これらの機器に不適切な動作が発生する可能性がある。検査上やむを得ず、植込み部位にＸ線を照射する場合には、植込み型除細動器の添付文書の「重要な基本的注意事項」の項及び「相互作用」の項等を参照し、適切な処置を行うこと。	Ｘ線束が連続的に照射されるＣＴ検査に際し、本体内部のＣ－ＭＯＳ回路に影響を与えること等により、オーバーセンシングが起こり、植込み型除細動器のペーシングパルス出力が一時的に抑制されたり、不適切な頻拍治療を行うことがある。

＜妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用＞

1. 妊婦および妊娠の可能性のある患者および小児への使用については、体に影響を及ぼすおそれがあるため、医師の慎重な判断の元に対応すること。

＜不具合・有害事象＞

1. 不具合
   動作不良、故障、通信エラー

＜その他の注意＞

1. 医療機器の感染性廃棄物は、歯科医師、又は医師が非感染の状態であることを確認し、医療機関が産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の資格を有する処理業者に廃棄を依頼すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件
   周囲温度範囲　：　-10～70℃
   相対湿度範囲　：　10～95%（但し結露のないこと）

2. 法定耐用年数　：　設置引渡し後６年
   （財務省令に基づいた減価償却資産の耐用年数を示すもので、当該品の直接的、物理的な耐久性を示すものではなく、その耐用年数を保証するものではない。）

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項（日常点検）
   (1) 始業前に以下の点検を必ず行うこと。
      1) 目視による点検
         ① 外観の確認
            装置の外観に異常がないことを確認すること。
            ・コネクタやケーブル、付属品などに損傷や摩耗がないこと。
         ② 清浄性の確認
            清浄な状態であることを確認すること。
            ・装置等に被験者の体液及び血液が付着していないこと。
         ③装置周辺の確認
            ・装置の妨げになる物がないこと。
      2) 機能の確認
         ①装置の正常状態の確認
            装置の正常状態・正常動作を確認すること。
            ・可動部の動作
            ・装置（付属品を含む）の動作
            ・システムの起動
         ②装置の固定状態の確認
            装置（付属品等を含む）の固定を確認すること。
         ③安全機能の確認
            所定の安全機能が正常に作動することを確認すること。
   (2)画像品質の確認
      年１回以上画像品質の確認を実施すること。
   (3)初回使用時及び患者ごとに清掃・消毒・滅菌を行うこと。
      ＜清掃＞
      弱い洗剤で湿らせたやわらかい布で拭くこと。
      本体に直接スプレーしないこと。
      ＜消毒＞
      製造業者が承認した消毒剤で外側表面のみを消毒すること。
      ＜滅菌＞
      下記の滅菌可能な付属品は、使用前後に 132℃、0.21MPa で ４分以上滅菌すること。
      チンレスト（バイトブロックロッド以外）、バイトブロック、コンタクトセグメント、コンタクトパッド、イヤープラグ、イヤープラグ用キャップ

2. 業者による保守点検事項
   弊社又は弊社の指定する業者に依頼すること。
   (1) 点検時期
      年１回以上
   (2) 点検内容等
      保守点検チェックリストに基づき、点検を実施する。
      ① 各部の状態、動作、付属品等の確認
      ② 画像品質の確認
      ③ 定期交換部品・消耗品の交換

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：
デンツプライシロナ株式会社
電話番号：03-5114-1032

製造業者：
シロナデンタルシステムズ株式会社
Sirona Dental Systems GmbH
（ドイツ連邦共和国）

取扱説明書を必ずご参照下さい。